

一 祓子

虎虎尾七〇あり仙居よあり として美女あり料六石三斗宛羽添記曰仙居のあり本大梵寺の虎ありといふ祓女とも一生ふ犯の新祓子とて加持くくにとあり添平豊義記にも巻八十年代高倉院安元三年殿下の虎あり立所の所に羽の羽より上るも男言といふ童子の筆よりくくを十禪師の虎ありて俄に抱ひ出て舞ヒカしてとあり

一 滅罪方

金剛院護摩堂心管院として三ヶ寺あり三十一ヶ寺の内なり

一 惣山伏

三ヶ寺の向村より往て往右より往左へ出て牛五巻巻を引夏月ハ左山一して乃若を引

東暦十九し巻曰来久二年五月出羽國里山山あり虎虎等群衆是所訴地頭大泉次郎氏平や仍今日為神奈等乃遂一変出山先例非地頭進止且可停止入取追捕